2026・11・3【全然堂歳時記 秋 【干柿】 t-01 全74句】 選26句

柿干すや目鼻かそけき赤ん坊

柿簾一段外す食後かな

干柿に遠き西日となりにけり

干柿に再び皮の如きもの

干柿に西日は遠く離れ行く

干柿に憧れてゐる熟柿かな

干柿の如き赤子でありしこと

干柿は星が綺麗な夜に干す

干柿を吊す日当り風当り

串に刺す団子の如き吊し柿

星空に干されて柿の赤裸

吊し柿まだ生柿といふ朱さ

粉を吹いて来れば霜柿とも呼ばれ

本堂に仏の柿を吊り連ね

明るくてまだ食べられぬ吊し柿

古釘に柿の裸を吊しけり

干柿は軒に熟柿は枝にかな

干柿に少し離れて唐辛子

吊柿の連なるままを送りくれし

古家の縁側長し吊し柿

風に吹かれ日に舐められて吊し柿

吊し柿日々に色濃く縮むなり

干柿に軒を貸したる母屋かな

柿の朱は木より軒へと移りけり

渋柿の皮も近くに干されある

渋柿の一皮剥けて吊られある

2026・11・3【全然堂歳時記 秋 【干柿】 t-02 全67句】 選20句

渋柿の一皮剥けて吊られある

古釘に柿の裸を吊しけり

串に刺す団子の如き吊し柿

渋柿の皮も近くに干されある

干柿に今日の日当り風当り

干柿を照らす西日の遠日かな

明るくてまだ食べられぬ吊し柿

吊し柿まだ生柿といふ朱さ

柿干せば日々に色濃く縮むなり

干柿に再び皮の如きもの

粉を吹いて来れば霜柿とも呼ばれ

干柿は軒に熟柿は枝にかな

干柿に軒を貸したる母屋かな

古家の縁側長し吊し柿

柿簾一段外す食後かな

干柿に少し離れて唐辛子

星空に干されて柿の赤裸

干柿はほしがきれいな夜に干す

吊柿の連なるままを送りくれし

干柿の如き赤子でありしこと

2段組 14ポ 2026年11月3日 10:55 〈1〉 桐10

2026・11・4【干柿】選20句

一柿を捥ぎ剥いて繋げて干しにけり
一渋柿の一皮剥けて干されある
一古釘に柿の裸を吊しけり
一串刺しの団子の如く柿を干す
一渋柿の皮も近くに干されある
一干柿に今日の日当り風当り
一干柿や遠き西日に照らされて
一吊し柿まだ生柿といふ硬さ
一柿干せば日々に色濃く縮むなり
一干柿に再び皮の如きもの
一粉を吹いて来れば霜柿とも呼ばれ
一干柿は軒に熟柿は枝にかな
一干柿に軒を貸したる母屋かな
一古家の縁側長し吊し柿
一縁側の積木ままごと吊し柿
一柿簾一段外す食後かな
一干柿に少し離れて唐辛子
一星空に干されて柿の赤裸
一干柿はほしがきれいな夜に干す
一吊し柿の連なるままを送りくれし